

制度、待遇や福利厚生施設の充実を進め、2020年に「働き方改革実践認定企業」となりました。その後、新たな人事評価制度を導入するなど、従業員が夢や目標を持ち、それをかなえられる会社となることを目指していましたが、それには「働きがい」向上が不可欠であると考えようになりました。

当社の従業員のモチベーションの源泉は、住民や顧客からの感謝の声や、仕事への誇りです。また、当社は「回収するだけでは終わりがたい。地域のため、未来のため、私たちは、誇りと使命をもち住環境を守ります」というビジョンを掲げており、このビジョンのもと、会社や仕事への誇り・地域への貢献意識を育み、ボトムアップでより良い会社を従業員と共に創りたいと考えました。そこで、全員参加の「新3K運動」(「3K(きつい・汚い・危険)」を、「新3K(きれい・かっこいい・志高い)」に変える運動)を展開することとしました。

●全員参加の新3K運動によりボトムアップの組織へ

まずは4~5人で構成する全従業員が参加するチームを作りました。「きれい・かっこいい・志が高い」とはどういったことなのか、それを達成するためには何をすればよいのかをチーム内で議論を重ねて深掘し、取組内容を決めていきました。全チームの取組内容を毎月掲示し、チームの中から最も頑張った従業員へ商品券を贈るなどして、楽しみながら継続できる工夫をしました。本社の事務部門で結成したチームでは、日頃の仕事が現場の従業員にどのように貢献できているかが見えにくいことから、日頃の感謝の気持ちをこめて本社で育てた花を現場を担当する従業員へ贈る取組をしました。従業員同士つながりを持つことで、日々の仕事が現場の従業員にどう役に立ち、どのように貢献しているのか、実感を持てるようになったのではないかと思います。

●新3K運動をきっかけに新たなプロジェクトが発足

新3K運動を通じ、新たなプロジェクトもいくつか立ち上がりました。その一つが女性活躍プロジェクトです。当社は家庭用ごみの回収も行っていますが、男性には依頼をしにくいといった女性顧客の声が挙がっていました。この声に応えたいとの思いから、女性が安心して依頼できるよう、女性従業員のみで対応を行う体制を構築することとなりました。その他、高齢従業員活躍プロジェクト、新卒採用プロジェクトなど、人材確保・定着や生産性向上などの経営メリットの発現につながる取組も始まりました。

●「働きがい」を高め、地域で輝く会社へ

【推進担当者】全員参加の「新3K運動」を通じ、「やらされていることが、自らやるのが当たり前になった。」「自分たちで考え、行動できるようになった。」という従業員からの前向きな声が増えました。今後は、新3K運動を評価項目に入れ込み、一過性の活動で終わらせることなく継続させていきたいと思えます。



【社長】人が集まり会社は成り立っています。働く人がぎらりと輝けば、自ずと地域できらりと輝く会社になるのではないかと考えています。「働きがい」を高める取組は、会社によっていろいろなやり方があると感じていますが、今回挑戦する一歩を踏み出したことは大きな成果であると考えています。今後も取組を続けていきたいと思えます。



(令和4年2月24日オンライン成果発表会より)